

# 令和5年度 地域理学療法 認定理学療法士 臨床認定カリキュラム研修会

運営: ちゅうざん病院  
協力: 宜野湾記念病院

対象者: 地域理学療法認定理学療法士の取得を目指す  
登録理学療法士

募集人数: 10名(最少催行人数 2名)

開催方法: ビデオ上映+ディスカッションを予定

必須科目、選択科目: 1コマ90分、全20コマ

受講料: 20,000円(全20講義) 1講義あたり 1,000円

場所: ちゅうざん病院 5階ホール  
県内離島・県外の方はオンライン(ZOOM)  
で対応可

日程: 2023年12月~2024年2月(毎週土曜日)

- ①12月2日(土)、②12月9日(土)
- ③12月16日(土)、④12月23日(土)
- ⑤1月6日(土)、⑥1月13日(土)
- ⑦1月20日(土)、⑧1月27日(土)
- ⑨2月3日(土)、⑩2月10日(土)

時間: 14:00~17:15 (2コマずつ実施)

申込URL

<https://forms.gle/ii78b99tRMrc0xRs5>



こちらからも申し込み可能です

〆切: 2023年11月25日終日

必須	地域理学療法学概説	千知岩 伸匡*
	地域理学療法学に関わる制度	野原 光稀
	理学療法学介入の意義と理学療法士の役割	金城 英典*
	地域理学療法学における理学療法評価	松並 健治*
	プライマリ・ケアにおける多職種での役割	中山 雄稀*
	訪問介護員、介護支援専門員の役割	上間 航之介
	訪問サービスにおける理学療法と保険制度	湊川 孟典*
	通所サービスにおける理学療法と保険制度	中曽根 紫乃*
	施設サービスにおける理学療法と保険制度	宮城 拓也*
	在宅生活の充実と社会参加促進のための生活期理学療法	金城 英典*
	終末期における理学療法	久貝 博文*
	自立支援や疾病管理の補助具、機械、社会資源の活用	藤本 悠太*
	発症予防、重症化予防、再発予防	太田 友恵
選択	患者・家族教育の意義とその方法	西大舛 高暉
	地域理学療法学の将来展望	武富 新太郎*
	ヘルパー、訪問看護師が行う介助方法の実際	山田 泉*
	家族が行う介助方法の実際	盛山 辰夫
	歩行補助具の見直しと装具作成の実際	千知岩 伸匡*
	住宅環境調整の実際	宮里 真司
	緊急時対応、皮膚、フットケアの実際	渡嘉敷 里子*

\* 日本理学療法士協会 認定理学療法士資格のいずれかを取得(運動器、脳卒中、地域理学療法)

お問い合わせ先  
臨床教育研究センター 白石 涼  
chuzan.ryo@gmail.com



ちゅうざん病院